

Tokyo Taiju

# 大樹

Law offices

NO.70



2019年から取り組んでいる「結婚の自由をすべての人に訴訟」は、全国6訴訟すべての高裁判決が出揃い、早ければ今年中に最高裁判決が出されます。2015年に日本弁護士連合会に申し立てた同性婚を求める人権救済申立てでは、約4年を要して同性婚を認めない現行法は憲法違反との意見が出されました。それからさらに年月は過ぎ、日本社会は着実に同性カップルの婚姻の受容に向かって進み、司法もそれに呼応するように6高裁のうち5高裁が明確な違憲判決を下しています。

憲法24条は2項で婚姻と家族に関する法律は「個人の尊厳と両性の本質的平等」に立脚しなければならないと国会に命じています。「個人の尊厳」とは全体を構成する個々人にこそ価値の根源があるという憲法の根本原理であり、個人より集団を重視して全体主義に陥った戦前の価値観に対する反省が背景にあります。

男性優位・女性蔑視の社会通念が色濃い戦後の社会状況の中で、憲法は個人の尊厳の原理のもと、14条で男女平等を定め、24条で女性に男性と等しく婚姻の自由を保障しました。性的指向及び性自認にかかわらず個人は等しく尊重されるとの理念が共有された今日、同性カップルを異性カップルと等しく婚姻制度に包摂することを憲法は要請するというのが個人の尊厳の原理に適った自然な解釈です。

憲法が保障するのは多様な個人がありのままに尊重される社会。排除ではなく包摂のためにじつこく声を上げ続けます。



排除ではなく包摂を

弁護士 上杉 崇子



TOKYO大樹法律事務所

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目26番1号 長田屋ビル5階  
TEL 03-3354-9661(代表) FAX 03-3354-3324



## 知識は資本？



例えば、漢字。小学生の頃は覚えるのに苦労しましたが、今はそんなに苦痛に感じません。英語も、得意ではないけれど、スペルを覚えるのは以前ほど大変ではない。商売道具である法律も似たような感じで、得意な分野やなじみのある分野の知識はどんどん入ってきて、結構簡単に定着していくので、覚えることにそれほど苦労はしません。

でも、初めて触れる法律だったり、普段余り接点のない法ジャンルだと全く勝手が違います。本を読んでもなかなか知識が定着しない。一生懸命考えて理解しようと、途端に自分の理解があやふやになってしまいます。感覚的に言つならば、「ぱっと振り返った拍子に頭から知識がぱりぱりっとぱれ落ちてしまう」ような感じです。

既知の分野で新しい情報を吸収するとき、その新しい情報が既存の知識と結びついて、知識体系の中であるべき場所に収まるようなイメージがあります。結晶の塊にさらに結晶が張り付いて大きくなつていくイメージです。そうすると、新しい知識はあるべき場所にちゃんとあって、いつでもアクセスできます。それに対して、未知の分野の情報は、それそれがバラバラに地面に転がっている感じで、なかなか全体をまとった知識として理解することが難しく、いつも気にしていないとどこかに転がつていて消えてしまうようなイメージです。

知識のあるところには知識がさらに定着し、知識が膨らんでいく。知識の無いところには知識が定着せず、知識は貧しいまま。まるで冷徹な資本主義の原理のようでも身に付かないんだな、と。

## 弁護士 近藤 博徳

司法研修所のクラス会に参加して  
弁護士 村田 智子

昨年10月、司法研修所のクラス会に参加しました。

司法研修所を卒業したのは約30年前でした。

司法試験に合格した年齢にばかりがあるため、クラスメートの年齢層は50歳代前半から60歳代までと差があるのですが、私も含め、皆、それぞれに歳を重ねてきました。

驚いたのは、私より少しだけ年上で、裁判官や検事に任官したクラスメートが、すでに定年を迎え、弁護士など別の道に進んでいたことです。弁護士をしていると気づきませんが、私も人生の区切りとなる年齢を迎えていたのだと実感しました。

弁護士となったクラスメートの仕事や生き様も様々で、企業法務中心の人、金融の分野で工場パートになつている人もいれば、私のように「町弁」として様々な相談を受けている人もいました。

WEBでの裁判が当たり前になり、裁判所も、裁判官・検事、弁護士という法曹三者の在り方も、私たちが新人の頃とは様変わりしています。

それでも、「一人ひとり、自分らしく仕事をし、生活をしながら、まだまだ現役としてがんばつていい」という姿を見て、私も頑張ろうと思いつつ、帰途につきました。



## 編集後記

▼從姉に昔飼っていた猫の人形を羊毛フェルトで作つてもらいました。まるで生きているかのようとてもリアルで、手で触れて撫でることができるので心が和みます。また折々に制作途中の写真をもらい、瞳や肉球の色や形など細かく意見を求められ、あの子の瞳はもつとオリーブが入つて、全体的にもつと丸かつたなど、改めて思い返す懐かしくも温かい時間もまた、贈り物のひとつであったように思えました。（才）

▼息子の小学校でSNSをめぐるトラブルがあつたようで、先生から注意があつたと教えてくれました。善意から起つた行き違いだったようですが、その内容がまさに最近私の身に起き、モヤツとしていたことと同じだったので。

幸い息子はまだSNSは利用しておらず、私の方もトラブルにまでは至らなかつたのですが、大人でも難しいSNSのルールやマナー。ネットリテラシーをどのように高め、関わり方を練引きしていくか、悩ましいです。（タ）



ホームページはこちらです。  
<https://www.tokyotaiju.com/>

TOKYO大樹  
法律事務所  
長田屋ビル5階

◆アクセス：地下鉄丸ノ内線「新宿御苑前」駅 2番出口 徒歩5分  
都営バス「花園町」下車 徒歩3分